

令和元年 6 月 26 日

## 豊洲市場における地下水等管理に関する協議会

座長	東京農工大学名誉教授	細見 正明
委員	富山大学大学院教授	丸茂 克美
委員	岡山大学名誉教授	西垣 誠

## 空気測定結果及び地下水質測定結果（濃度確認・全体確認モニタリング結果）について

## 1. 対象

平成 31 年 2 月、3 月、4 月、令和元年 5 月採取分

## 2. 空気測定結果について

- ①ベンゼンの測定結果については、建物 1 階部分は  $0.0007\sim 0.0018\text{mg}/\text{m}^3$ 、屋外は  $0.0005\sim 0.0014\text{mg}/\text{m}^3$ 、地下ピット内は  $0.0005\sim 0.0015\text{mg}/\text{m}^3$ であった。
- ②シアン、水銀の測定結果については、いずれも不検出であった。
- ③また、ベンゼンの大気環境基準（国が定めた人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準）は、「1 年平均値が  $0.003\text{mg}/\text{m}^3$  以下であること」であり、建物 1 階については、昨年 6 月からの 1 年平均値が、青果棟及び水産仲卸売場棟で  $0.0011\text{mg}/\text{m}^3$ 、加工パッケージ棟、水産卸売場棟及び補助 315 号線連絡通路内でいずれも  $0.0010\text{mg}/\text{m}^3$ となっている。屋外については、同じく昨年 6 月からの 1 年平均値が、5 街区で  $0.0011\text{mg}/\text{m}^3$ 、6 街区及び 7 街区で  $0.0010\text{mg}/\text{m}^3$ 、補助 315 号線連絡通路内で  $0.0009\text{mg}/\text{m}^3$ となっている。地下ピット内については、測定を開始した昨年 7 月からの平均値が、水産仲卸売場棟及び加工パッケージ棟で  $0.0008\text{mg}/\text{m}^3$ 、青果棟及び水産卸売場棟で  $0.0007\text{mg}/\text{m}^3$ となっている。このことから、いずれも大気環境基準に適合していることが確認できる。

以上の結果から、建物 1 階、屋外及び地下ピット内のいずれの空気についても、前回の調査結果（2 月 7 日公表）と同様に、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

## 3. 地下水質モニタリング調査結果

前回の調査結果（2 月 7 日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

以上